

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

# たまちゃん通信

平成 30 年 11 月発行 105-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 韓国のテレビ局がお手玉を放映

### 中原和彦博士が医学的な立場から紹介

日本のお手玉の会の顧問でヘルスアートクリニックくまもと院長の中原和彦医学博士のところへ、昨年 11 月 21 日、韓国テレビ放送のMBCが、「伝承遊び」のドキュメンタリー特集番組制作のため、取材に訪ねてきました。そのことは、平成 29 年 12 月発行の日本のお手玉の会の会報「おてだま」No. 36 で紹介しました。



そのテレビ番組が、このほど放映され、その内容が中原顧問のところへ届きましたので、ご紹介します。

番組では、

モンゴル、中国、日本、韓国、カザフスタン、タイなどの「昔遊び」が紹介されています。なわとび、竹とんぼ、輪ころがし、けんけんぱ、手遊び、鬼ごっこなど、日本でもおなじみの遊びが、次々に登場します。(写真左上：お手玉の効果語る中原顧問)



日本の部分は、中原顧問のクリニックでの診察

風景から始まります。中原顧問は、長年にわたって、うつ病の患者さんの治療にお手玉遊びや、手遊びなどを採用しています。(写真上：お手玉をやっている中原顧問)



### お手玉遊びで『いま』を見つける

韓国テレビ局のレポーターと一緒に、歌を歌いながら「手遊び」や「お手玉を」しています。

これに対して、レポーターから、「これは、どんな効果があるのですか？」と質問がありました。中原顧問は、「お手玉をして、遊びに集中することで、『いま』を見つけることができ、憂鬱な考えがなくなり、心が楽しくなるのです」と話しています。

また、園田佳奈子さんは、ヨーヨーお手玉ダンスを笑顔で踊って見せました。そして、「お手玉ダンスで、わたしの人生が完全に変わりました」と笑顔で話していました。

その後、場所を老人会館に移して、みんなで輪になり、歌を歌いながら「お手玉回し」をしました。そこで中原顧問は、「お年寄りの健康のために、お手玉遊びを推進しています」と話していました。(写真上：老人会館でのお手玉回し。写真はいずれも韓国のテレビ放送MBCの画面から)

お年寄りも、「これが最高の健康法です」と口をそろえて話しています。お年寄りの中には、「お手玉をして、つらい時期を乗り越えることができました」と話している人もいました。

(この情報は、熊本おじゃめの会の中原敏博様から提供していただきました)